

東大 - シドニー大大学院共通カリキュラム「温暖化対策コース」

Joint Course on Greenhouse Gas Mitigation

at the University of Tokyo and the University of Sydney

実施組織

- 東京大学大学院工学系研究科環境海洋工学専攻
- Ocean Technology Group, Department of Civil Engineering, University of Sydney (シドニー大学工学系研究科土木工学専攻海洋工学部門)

目的

修士 1 年の学生に夏学期を東大で、冬学期をシドニー大で、地球温暖化に関する特別カリキュラムを履修させることにより、一般的な地球温暖化問題とその予想される影響、現在考えられている対策技術とその効果について広く学ばせ、温暖化対策技術をテーマに、国による技術の位置付け、それを利用する政策決定プロセス、社会受容性などの差異を、それぞれの国の一流の研究者・教育者による講義・演習を通して肌で感じ取ることで、地球環境問題に関する国際交渉を担う将来のエンジニアや技術系政策立案者・決定者の育成を目指す。

カリキュラム

科目名 (単位数)

東大夏学期

- ・ 環境・エネルギー工学 (Environmental and Energy Engineering) (1)
- ・ 環境調和システム設計 (Planning of Environmentally Harmonising Systems) (2)
- ・ 環境流体モデリング (Environmental Fluid Modelling) (2)
- ・ 環境技術政策論 (Environmental Technology Policy Making) (1)

シドニー大第 2 学期

- ・ Environmental Oceanography and Meteorology (環境海洋気象学) (2)
- ・ Civil Engineering Project, GHG (土木工学演習「温暖化ガス」) (3)
- ・ Seminar - Carbon Credit Trading (セミナー：排出権取引) (1)
- ・ Environmental Decision Making (環境政策決定) (2)
- ・ Eco-social Ethical Aspects Engineering (環境社会倫理と工学) (2)

東大大学院生派遣

スケジュール：修士 1 年の夏学期を東大で、冬学期をシドニー大で履修。

派遣資格：修士 1 年の冬学期は「留学」。

募集人数：2~3 人 / 年。専攻への申請は 4 月~6 月中旬。

合否基準：面接及び TOEFL530 点相当。6 月下旬の教室会議にて判定、7 月の工学系委員会で報告。

単位認定：本人帰国後シドニー大での指導教官の手紙により、最大 10 単位を認定する。

各種費用：シドニー大の授業料は免除 (部局間協定に基く)。生活費・渡航費・宿泊費・保険は原則として自己負担。

シドニー大大学院生受け入れ

対象学生：シドニー大の 1 年間の社会人向け Certificate コース「Greenhouse Gas Mitigation」の院生。

スケジュール：夏学期を東大で、冬学期をシドニー大で履修。

受入資格：大学院外国人研究生の規定による。

募集人数：2~3 人 / 年。

合否基準：シドニー大の推薦による。

単位認定：東大での指導教官からの private letter によってシドニー大が判定。

各種費用：東大の授業料は免除 (部局間協定に基く)。生活費・渡航費・宿泊費・保険は原則として自己負担。

以上